

〇〇年度 特別の教育課程編成・実施計画(参考様式)

「報告」の記入例も
本シートを参照のこと。

この様式例にこだわることなく、従来の名簿
等を適宜改良して活用することも考えられる。

学校名	〇〇市立〇〇小学校
学校長	〇〇 〇〇
提出日	平成〇〇年 〇月 〇〇日

指導内容 : ①サバイバル日本語、②日本語基礎、③技能別日本語、④日本語と教科の統合学習、⑤教科の補習

No.	学年	児童生徒氏名	指導内容							指導時間	指導形態	指導者	
			学習段階	①	②	③	④	⑤	その他				
1	小1	〇〇 〇〇 〇〇	初期の前期	○	○						週4時間	グループ指導	〇〇〇〇
											H26.4~		
2	小2	〇〇〇 〇〇	初期の後期		○		○				週4時間	週2 グループ指導 週2 個別指導	〇〇〇〇
											H26.4~		
3	小2	〇〇 〇〇 〇〇	教科につながる学習				○	○			週2時間	個別指導	〇〇〇〇
											H26.4~H26.12		
4	年度途中で「特別の教育課程」による指導を終了した場合は、指導期間を記入しておく。												
5	小4	〇〇 〇〇	初期の前期	○	○	○					週6時間	〇〇小学校へ通級 (週4 グループ学習 週2 個別指導)	〇〇〇〇 (〇〇小教諭)
											H26.10~		
6	編入など、年度途中で「特別の教育課程」による指導を開始した場合は、順次追記しておく。												
7	小6	〇〇〇〇 〇〇 〇〇	教科につながる学習					○	○		週2時間	巡回指導 (週2 グループ学習)	〇〇〇〇 (巡回指導)
											H27.1~		
8													
9	日本語指導の内容を、「初期の前期」「初期の後期」「教科につながる学習」の3つの段階で大きく分けるなどが考えられる。												
10	①~⑤は「外国人児童生徒受入れの手引き」(文部科学省)p26~を参考にしている。おおまかな内容で良い。複数の例を登録しておき、選択できるようにすることも考えられる。												
11													
1	本計画書を教育委員会に提出した後も、「特別の教育課程」による指導の終了時や、転編入児童生徒に対して新しく「特別の教育課程」による指導を始めるとき、又は学習評価などを踏まえて指導計画を変更した際など、各学校において適宜追加・修正を行い、年度の終わりに報告一覧として、教育委員会に提出すること。												
【4	「入り込み」指導等を行っている場合に、「その他」欄に参考に記載することも考えられる。												